

広島で学んだこと

多摩市立諏訪中学校 1年 ^{いしだ}石田 ^{あおい}碧生

広島派遣で原爆や太平洋戦争について学んだ。原爆ドームや平和記念公園、平和記念資料館にも行き、平和記念式典にも出た。広島の方々とも平和について学習した。一番心に残ったのは実際の被爆者の方のお話だった。

広島での体験は私にとって大きな影響を与えてくれた。被爆者の方々が実際に体験したことを聞くことで、戦争の恐ろしさや平和の大切さを改めて感じる事ができた。

平和記念式典では、平和への思いを語る姿に胸を打たれた。彼らは未来の世代に平和へのメッセージを伝えるために、力強く演説をしていた。戦争の傷跡がまだ残る広島で、平和を願う気持ちが強くなった。

また、平和記念資料館では、戦争の悲惨さや原爆投下の恐ろしさを学んだ。被爆した方々の遺品や写真、被爆時の状況などが展示されていて、特に暁部隊の動画など、本や文字、写真で見るとよりリアルな映像に胸が痛む思いだった。戦争の悲劇を繰り返さないためには、私たちも平和の大切さを心に留めて生きていかなければならない。

広島は私の人生観を大きく変えてくれた。戦争や原爆の恐ろしさ、平和の尊さを肌で感じる事ができたこの経験を私は忘れることはない。将来、平和を守るために何ができるのか、常に考え行動していきたいと強く思った。

広島で学んだことは、ただ知識を得るだけではなく、心に深く刻まれるものだと感じた。被爆者の方々が語る体験談や平和への熱い思い、平和記念資料館で見た戦争の残酷さや被害の実態は、私の中に大きな影響を与えた。平和は当たり前にあるものではなく、日々守られている大切なものなのだと感じた。将来、平和を守るために自分に何ができるのかを考えることは、この貴重な体験から逃れることはできない。願うだけならだれでもできる。自分の立場でできる小さなことからでも、平和に貢献していきたい。